

「第6回・銀座書齋入居ビル・清掃活動」レポート

2019年1月25日(金)実施

2019年1月30日(水)提出

英語道弟子課程・弟子 M.U.

2019年(月)25日(金)、「第6回 銀座書齋入居ビル 清掃活動」を実施させていただきました。

今回、清掃をさせていただきながら、とても印象深い光景に出会うことができました。

5階から下への掃き掃除に入って間もなく、綿埃がふわっと舞い上がりました。

ゆっくりと落ちてきたそれを取ろうと、塵取りを近づけた瞬間、その際に起きたわずかな風により、再び綿埃が宙に舞ったのです。

「なんだ」と思いました。

塵取りに乗せてからもふわふわとしているので、少量の水を落とすと、ぐらぐらとしたかのように動かさなくなりました。

吹けば飛んでしまう 何の力もない存在。

綿埃は、まるで自分自身を見ているようでした。

何の力もない... それでも生かしていただいています。

生きているだけで毎日ゴミを出す... それでも生かしていただいています。

実際、人間そのものが生ゴミです。

生ゴミは、そのままにしておくと、次第に腐り、悪臭を発します。

これは、人間、何も考えずに生きてると、気がかぬうちに  
資本主義経済社会に毒され、本来あるべき人間の姿とは  
真逆の墮落の方向へと向かってしまうということに似ていると  
思いました。

「生ゴミ」である自分は、これ以上汚れないよう、また、「生ゴミ」の身で  
ありながら、ゴミを出しながら生かしていただいていることに  
報いるため、この世に何らかの恩返しをさせていただく  
必要があります。そのために、「理性」や「知性」が、  
人間に賦与されているのだと思います。決して自分のため（利益・  
欲）に使うよう与えられたものではありません。

清掃活動や英語稽古に於いての耳学問のなかで、「仕事に対する  
プロ意識」について、生井先生よりお話しただいております。

自分自身を振り返りました。

人員不足による忙しさを自分への言い訳とし、近頃は仕事がい  
雑雑になっちゃったり、サービス業であるにも関わらず、  
周囲への配慮が欠け、仕事の効率を優先して動いて  
しまっていたように思います。

サービス業の仕事は、その質を自分自身で判断するもの  
ではありません。

「本物」の方から「質が高い」と感じていただけるように  
「ありがたい!!」と思えました。

これは、エアコンの交いた快適な環境の中で事務仕事をしていた  
頃には 考えもしなかったことです。

本物の方から、その質を認めていただくことは、  
無論、容易なことではありません。

けれど、生井先生よりいただいているご教授、ご指導に従い  
生きているから、日々「少しずつ」でも近づいていくことは可能で  
あると思います。

「なぜなら、言うまでもなく、生井利率先生ご自身が「本物」で  
いらっしゃるから。

吹けば飛んでしまう綿埃ではない私が、英会話道場「イングリッシュ  
ヒルズ」のホームページの存在に気づき、生井先生と面談をさせていただき、  
教室への入門をお許しいただけたこと、そして「正真正銘の本物」で  
いらっしゃる生井先生の弟子として、「生井利率(先生)道」を

歩ませていただけていること、これは本当に幸運であり、  
祝福されているのだと感じます。

改めてその価値に気づかせていただくことができました。

私は、いつの間にか、それが「当たり前」のように思ってしまった  
いたように思います。

銀座書齋のレッスン用テーブルの前には、  
ミレーの『馬鈴薯植え』が飾られていました。

清掃活動を通し、今後は「労働の尊厳」についても  
何らかを感じる事ができたらと思っております。

生井先生の貴重なお時間のなかから、  
清掃活動のための時間を捻出していただいたことで、  
様々な気づきを得させていただくことができました。

これらの気づきを、その先の行動へとつなげて参ります。

この度も、貴重な学びの機会を賜うてくださり、  
ありがとうございました。